

政務活動実施報告書

令和6年8月1日

村上市議会議長 三田 敏秋 様

議員名 姫路 敏



私は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

用 務 名	先進地視察研修
実 施 日 時	令和6年7月30日（火） 午前 8 時 00 分 ～ 午後 7 時 00 分 ～
用 務 先	山形県鶴岡市
参 加 議 員 名	※同行議員がある場合記入すること。 魚野ルミ、佐藤憲昭、野村美佐子、上村正朗、菅井晋一、富樫雅男 小杉武仁、河村幸雄、渡辺 昌、尾形修平、鈴木いせ子、川村敏晴 姫路 敏、長谷川孝、三田敏秋
全体参加者数	※同行議員がある場合記入すること。 15 名
概要及び所見	※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 別紙のとおり
備 考	



令和6年8月1日
村上市議会議員 姫路 敏

視察報告書

令和6年7月30日（火）

鶴岡市加茂地区で地元の方から加茂港における北前船の話を聞くことができました。その話によると、「江戸時代の中期から明治30年代まで、日本海側を回りながら大阪と北海道を結んでいた商船群である北前船は、庄内藩の城下町だった鶴岡にもその寄港地は点在しており、特に加茂地域は湾に面して回船問屋が並んでいた重要港でありました。

そもそも北前船は、単に荷物を運ぶだけでなく、各寄港地で積み荷をさばきながらも、安くて良い商品を購入（仕入れ）し、各所で売買しながら進んでいきました。その利益は、大阪と北海道の1往復が約千両（今でいう6千万～1億円）であったとされておりますので、一攫千金も叶う夢の船でありました。そして巨万の富を得た船主たちが、各寄港地に繁栄をもたらしました。鼠ヶ関には藩の番所があり、そこから北上した加茂は城下の生活物資を陸揚げする重要港で、回船問屋が並んでいました。善寶寺には北前船の船頭も参拝にきたとも言われております」
とのことでした。

鶴岡市では、令和元年には日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～」に追加認定されました。

大変良い勉強になりました。この度村上市も日本遺産に追加認定されましたが、鶴岡市以上にすばらしい観光スポットになり得ることを期待できます。今後関係者とも意見交換しながら、何が大事であるのか？そして何をPRすればよいのか？など考えていきたいと思えます。